

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年1月20日から2027年1月19日	
運用方針	マザーファンドの受益証券を通じて、主としてベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域（日本を含む）の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式等に投資することにより、信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要運用対象	ベトナム・ロータス・ファンド	ベトナム・ロータス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。
	ベトナム・ロータス・マザーファンド	主としてベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域（日本を含む）の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式を投資対象とします。 銘柄選択は、企業収益の成長性・財務健全性・流動性等を勘案して柔軟に行います。 組入外貨建資産については、原則、為替ヘッジは行いません。
組入制限	ベトナム・ロータス・ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ベトナム・ロータス・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回（原則として1月19日。ただし、休業日の場合には翌営業日とします。）決算を行い、原則として次の通り分配を行う方針です。 ①原則として毎計算期末に分配原資の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して収益分配金額を決定し、収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。 ②分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等とします。 ③収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

ベトナム・ロータス・ファンド (愛称：ロータス)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2022年1月19日）

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ベトナム・ロータス・ファンド」は、2022年1月19日に第5期決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

東京都中央区入船1-2-9 八丁堀MFビル8階

照会先

ホームページアドレス：<https://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク：03-3553-8711

（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで）

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

★設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
設定日(2017年1月20日)	10,000	—	—	—	—	513
第1期(2018年1月19日)	12,464	0	24.6	28.1	44.4	618
第2期(2019年1月21日)	9,785	0	△21.5	96.5	0.4	1,222
第3期(2020年1月20日)	10,354	0	5.8	97.2	0.9	2,189
第4期(2021年1月19日)	12,676	200	24.4	97.4	0.6	2,840
第5期(2022年1月19日)	19,403	0	53.1	94.6	2.8	11,991

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みの数値です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、それぞれ当初設定価額および当初設定元本額を記載しています。

★当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率		
	円	%	%	%
(期首)2021年1月19日	12,676	—	97.4	0.6
2021年1月末	10,900	△14.0	97.2	0.6
2月末	12,571	△0.8	97.6	0.6
3月末	13,886	9.5	99.2	0.5
4月末	13,987	10.3	95.9	0.5
5月末	15,502	22.3	90.8	1.2
6月末	16,694	31.7	92.4	2.8
7月末	15,599	23.1	93.8	2.8
8月末	16,975	33.9	89.9	2.9
9月末	17,854	40.8	94.0	2.8
10月末	19,849	56.6	93.4	3.1
11月末	20,544	62.1	95.1	3.0
12月末	20,712	63.4	94.9	2.8
(期末)2022年1月19日	19,403	53.1	94.6	2.8

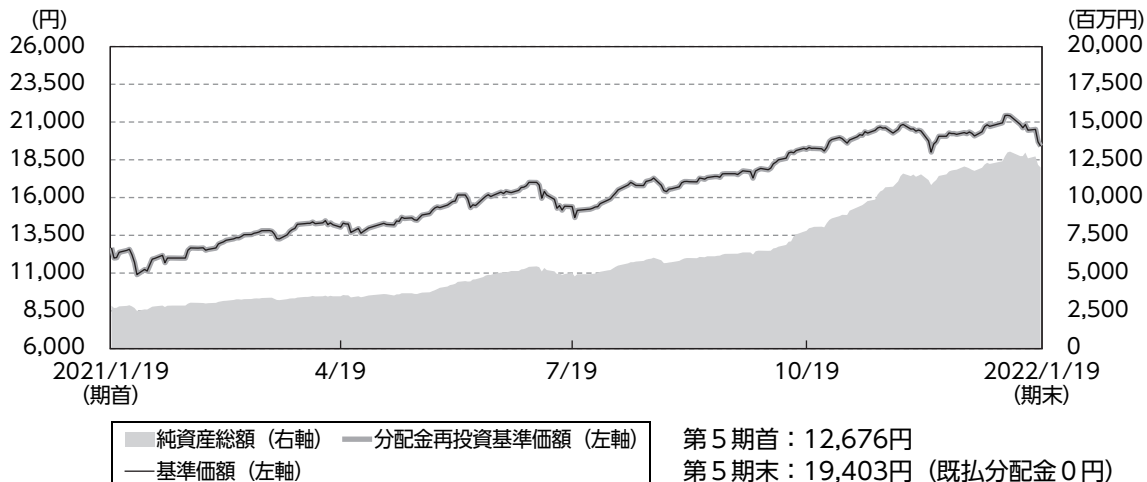
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

★運用経過

☆基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2021年1月19日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

☆基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ベトナムでは2021年1月中旬から下旬にかけて新型コロナウイルスの市中感染が起り、多い日には100人以上の感染者が出たことから、大きく株価が下落しました。幸いその後は徹底した感染対策が功を奏して、再び新規感染者数の押さえ込みに成功しました。
- ・3月1日に閉幕したベトナム共産党の第3回大会では、最高指導者である書記長に現職のグエン・フー・チョン氏の留任を決めました。書記長が3期目に入るのは初めてであり、党規約にある書記長任期の「連続2期10年」を超える特例となりますが、非常時における安定を優先したものと思われます。このような状況下、ベトナムVN指数は2月には10.6%の上昇となり、基準価額も15.3%の大幅な上昇となりました。
- ・ベトナムでは活発な株式売買状況によって、3月の平均取引金額は一日当たり15.5兆ドンとなりました。ベトナム経済は引き続き好調を維持し、2021年第1四半期の経済成長は前年同期比+4.48%でした。同じく第1四半期の鉱工業生産は前年同期比+5.7%、輸出は前年同期比+26.2%と、輸出が牽引する経済成長が確認できました。このような状況下、ベトナムVN指数は3月中旬に史上最高値の1200.94ポイントを記録し、月中の上昇率は2.0%でした。
- ・ベトナムでは活発な株式売買状況によって、4月の平均取引金額は一日当たり18.4兆ドンと史上最高の金額となりました。ベトナム経済は引き続き好調を維持し、2021年初来の4ヶ月間の鉱工業生産は前年同期比+10.0%、輸出は前年同期比+28.5%と、輸出が牽引する経済成長が確認できました。月末には約一ヶ月ぶりに新型コロナウイルスの市中感染が発生したことから、市場に警戒感が広がる場面も有りました。外国人投資家は昨年10月以来3月まで毎月ベトナム株を売り越していました。4月には久々に710億ドンの買い越しを記録しています。このような状況下、ベトナムVN指数は4月には大手の不動産株や大手銀行株に牽引され4.0%上昇しました。
- ・5月のベトナム株は上昇基調を保ち、ベトナムVN指数は月中に何度も史上最高値を更新しました。この背景にはマクロ経済が良好なパフォーマンスを見せていること、個人投資家の新規参加が増えていること、米格付け大手であるムーディーズ・インベスターズ・サービスとスタンダード・アンド・プアーズ、英国の格付け会社フィッチレーティングスがいずれもベトナムの国家信用格付見直しを引き上げたこと、などが考えられました。また、海外金融指標プロバイダーがベトナム株式市場の市場分類の昇格を検討していることもプラスの材料でした。このような状況下、ベトナムVN指数は5月には7.2%上昇し、基準価額の10.8%の上昇につながりました。
- ・ベトナムは2021年年央まで新型コロナウイルス感染の制圧に成功していましたが、6月には北部工業地帯から始まった第4波がホーチミンにも波及し、国内での新規感染者が一日あたりで数百人となりました。この感染拡大にもかかわらず、6月のベトナム株は5月に引き続き上昇基調を保ち、ベトナムVN指数は月中に何度も史上最高値を更新しました。この背景にはマクロ経済が良好なパフォーマンスを見せていること、個人投資家の新規参加が増えていることなどが考えられますが、上昇相場がさらに買いを呼ぶという強気相場循環が継続している面も見逃せません。6月中にはまた、海外金融指標プロバイダーであるMSCIがベトナム株式市場の市場分類の昇格を見送るというニュースも流れましたが、これも上昇基調の相場には、大きく影響しませんでした。このような状況下、基準価額は6月には7.7%上昇しました。

- ・ 7月に入るとベトナムでもデルタ株ウイルスの蔓延によってベトナム南部の最大都市であるホーチミン市を中心に、感染者が急増しましたが、8月に入っても感染拡大は止まりませんでした。その為、ホーチミン市では外出禁止措置が継続し、市内の経済活動は大幅に停滞を余儀なくされました。一方、7月に大幅に下落したベトナムVN指数は8月には1.6%回復しました。
- ・ 9月に入るとベトナムのパンデミック新規感染はピークを越えた様子でしたが、厳格な行動制限の影響により7～9月期の実質国内総生産(GDP)は前年同期比6.17%減と四半期ベースで2000年以降初めてのマイナス成長となりました。また、アジア開発銀行はベトナムの2021年の実質GDP成長率を前回予想の+5.8%から+3.8%に下方修正しました。ベトナムの9月の鉱工業生産指数は前年同期比でマイナス5.5%となり、このベトナムの鉱工業生産の減速は、輸出の減速を通じて世界のサプライチェーンの混乱の原因の一つとなりました。9月のベトナムVN指数は0.8%上昇し、基準価額は5.2%の上昇でした。
- ・ 10月にはベトナムのパンデミック新規感染者はようやく減少傾向を示しました。また、第3四半期の企業決算の発表が始まりましたが、概して決算内容は好調でした。その結果、10月のベトナム株は上昇基調を保ち、月末にかけてベトナムVN指数は7月に記録した史上最高値を抜いて、1450ポイントに迫りました。結局10月にはベトナムVN指数は7.6%上昇しました。
- ・ 11月のベトナム株式は10月の騰勢を保った結果、ベトナムVN指数は1,500ポイントを超し、史上最高値を更新しました。しかし、月末にかけて新型コロナウイルスの新変異株リスクで世界的な株安となった影響でベトナム株も売られ、ベトナムVN指数は1,478.44ポイントで月末を迎えました。ベトナムVN指数は2.4%の上昇で11月を終えました。
- ・ ベトナム株は12月初めに下落したものの、その後は銀行株が買われる事で徐々に回復基調となりました。12月のベトナムVN指数は年末に1,500ポイントにあと一步に迫るまで上昇し、月中の上昇率は1.3%でした。

<下落要因>

- ・ ベトナムでは、2021年1月にベトナムVN指数が4.3%下落しましたが、2月10日から1週間続く旧正月休暇前に、利食う動きが集中したと考えられます。また、1月以前はベトナムでは新型コロナウイルス感染がほぼ完璧に制圧されていましたが、1月に市中感染が広がった事でパニック売りを招いた側面も有りました。
- ・ ベトナムでもデルタ株ウイルスの蔓延によって7月にはベトナム南部の最大都市であるホーチミン市を中心に、感染者が急増しました。その為、ホーチミン市では外出禁止措置を導入しましたが、感染が収束する兆しが見えない状況でした。ベトナム株は月初の史上最高高値圏から売られましたが、月中からは買いが入りました。このような状況下、ベトナムVN指数は7月には7.0%下落した結果、基準価額も6.6%の下落となりました。
- ・ 2022年1月には、米国でのインフレ加速が鮮明になった事から、米国政策金利の引き上げが第1四半期にも開始される状況となった事、及び、ウクライナへロシア軍が侵攻する可能性が高いと報じられた事で、米国株が急落し、その影響を受けてベトナムVN指数も下落し、基準価額の下落につながりました。

☆投資環境

(期初2021年1月20日～期末2022年1月19日)

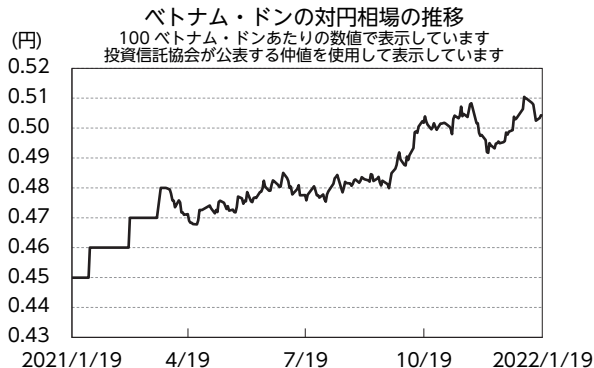
本ファンドの期末である2022年1月19日のベトナムVN指数は1,442.79でしたが、期初の前日である2021年1月19日の1,131.00と比較すると、当決算期のベトナムVN指数は27.6%の上昇でした。また、同期間にベトナム・ロータス・ファンドの基準価額は53.1%上昇しました。一年を通して見るとベトナムVN指数は2021年1月と7月、及び2022年1月の下落を除くと概ね上昇基調を保ちました。

2021年を通じて世界レベルでは新型コロナウイルス感染拡大に歯止めが掛からなかったものの、世界中で大幅な金融緩和策が取られたことから、欧米株は2021年を通じて概ね上昇基調でした。ベトナムでは、2020年は徹底的な感染対策が効を奏し累計の感染者数を極めて限定した人数に押さえ込むことに成功しましたが、2021年には感染拡大が起こり、社会経済活動との両立を目指す政策を取らざるを得ない状況となりました。

2021年はパンデミックの為にベトナムでも大幅に経済活動が制限されましたが、結局2021年のGDP成長率は2.58%とプラスとなりました。2021年の海外からベトナムへの直接投資申請額は前年比で15.4%増加し、また、2021年の輸出額は前年から19.0%増加して過去最大値を更新しました。



本ファンドの期末である2022年1月19日のベトナム・ドンの対円相場（100ベトナム・ドンあたり、投資信託協会発表）は0.5041でしたが、これは期初前日の2021年1月19日の0.4500と比較すると12.0%の上昇でした。期中のベトナム・ドンは、概ね、期を通じて上昇する推移となりました。ベトナムは為替管理にベトナム・ドンの対ドルのレートを基準とする管理フロート制を採用していることから、期中のベトナム・ドンの為替相場の動きはドル・円レートの動きに近い動きでした。



☆当該投資信託のポートフォリオ

<ベトナム・ロータス・ファンド>

当ファンドは、主要投資対象の「ベトナム・ロータス・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）」受益証券の組入比率を通常の状態でも高位に維持することを基本としました。当ファンドは、マザーファンドを通じて、主としてベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域（日本を含む）の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式等に投資する戦略で運用を行う事を基本としているため、基準価額はマザーファンドの運用成果の影響を大きく受けました。

<ベトナム・ロータス・マザーファンド>

期を通して、ベトナム株式市場に上場する個別株式への投資によって運用を行いました。流動性の高い大型株への投資を主体としましたが、中小型株への投資も銘柄を厳選して行いました。新型コロナウイルス感染拡大のために今期はベトナム企業との直接面談による投資対象企業調査が出来ませんでした。それに変わりベトナム現地の有力証券会社との緊密な連絡を心がけ、銘柄選択精度の更なる向上を目指しました。

☆当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

☆分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配金は見送らせていただきました。なお、留保金の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第5期	
	2021年1月20日~2022年1月19日	
当期分配金 (円)	-	
(対基準価額比率) (%)	(-)	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	9,403	

(注1) 「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

★今後の運用方針

<ベトナム・ロータス・ファンド>

当ファンドは、主として、ベトナム・ロータス・マザーファンドの受益証券を通じて、ベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域(日本を含む。)の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式等に投資することにより、信託財産の成長を目指した運用を行います。

<ベトナム・ロータス・マザーファンド>

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。主として、ベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域(日本を含む。)の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式等を投資対象とし、銘柄選択は、企業収益の成長性・財務健全性・流動性などを勘案して柔軟に行います。また、投資するベトナム株式には、当該株式の値動きに連動するETF(上場投資信託)も含まれます。株式の組入れ比率は原則として高位を保ち、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。この運用方針に則り、信託財産の成長を目指し運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

★お知らせ

該当事項はございません。

★1 万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2021年1月20日～2022年1月19日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	353	2.18	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,256円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(170)	(1.05)	
(販売会社)	(170)	(1.05)	
(受託会社)	(13)	(0.08)	
(b) 売買委託手数料	50	0.31	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(49)	(0.30)	
(投資証券)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(先物オプション)	(－)	(－)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.01)	
(c) 有価証券取引税	8	0.05	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(8)	(0.05)	
(投資証券)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(先物オプション)	(－)	(－)	
(投資信託受益証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	77	0.48	(d) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用 その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料
(保管費用)	(60)	(0.37)	
(監査費用)	(2)	(0.01)	
(印刷費用)	(14)	(0.09)	
(その他)	(1)	(0.01)	
合計	488	3.02	

(注1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

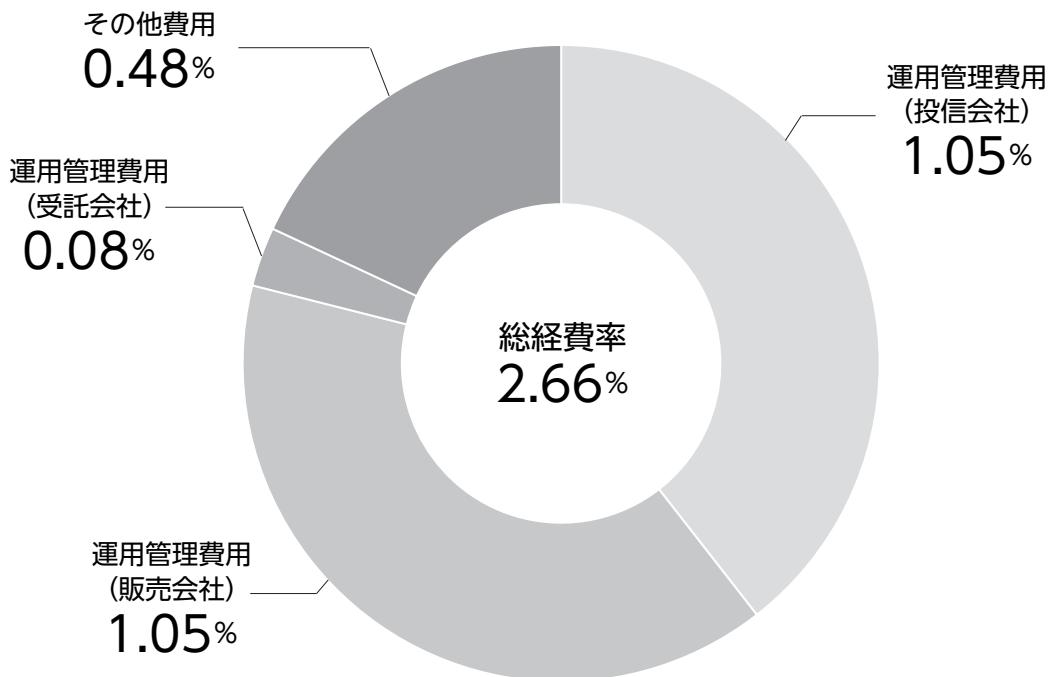
(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) -印は該当がないことを示します。

(参考情報)

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.66%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

★売買および取引の状況（2021年1月20日～2022年1月19日）

親投資信託受益証券の設定・解約状況

銘柄名	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ベトナム・ロータス・マザーファンド	3,632,293	7,631,500	269,303	501,000

★親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ベトナム・ロータス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	12,207,781千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,616,399千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	2.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

★利害関係人との取引状況等（2021年1月20日～2022年1月19日）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

★組入資産の明細（2022年1月19日現在）

親投資信託残高

銘柄名	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ベトナム・ロータス・マザーファンド	1,973,901	5,336,891	11,950,901

★有価証券の貸付及び借入の状況（2022年1月19日現在）

該当事項はございません。

★投資信託財産の構成（2022年1月19日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ベトナム・ロータス・マザーファンド	11,950,901	94.4
コール・ローン等、その他	702,449	5.6
投資信託財産総額	12,653,350	100.0

★資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	12,653,350,214円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	702,448,546
ベトナム・ロータス・マザーファンド	11,950,901,668
(B) 負 債	661,436,715
未 払 解 約 金	565,935,415
未 払 信 託 報 酬	92,184,357
そ の 他 未 払 費 用	3,316,943
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	11,991,913,499
元 本	6,180,392,077
次 期 繰 越 損 益 金	5,811,521,422
(D) 受 益 権 総 口 数	6,180,392,077口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	19,403円

(注1) 当ファンドの期首元本額は2,241,146,375円、期中追加設定元本額は7,097,113,657円、期中一部解約元本額は3,157,867,955円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.9403円です。

(注3) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

★損益の状況

(2021年1月20日～2022年1月19日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,161,920,262円
売 買 益	2,002,907,710
売 買 損	△ 840,987,448
(B) 信 託 報 酬 等	△ 137,713,124
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	1,024,207,138
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	213,750,711
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,573,563,573
(配 当 等 相 当 額)	2,354,989,569
(売 買 損 益 相 当 額)	2,218,574,004
(F) 合 計 (C + D + E)	5,811,521,422
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	5,811,521,422
追 加 信 託 差 損 益 金	4,573,563,573
(配 当 等 相 当 額)	2,370,235,505
(売 買 損 益 相 当 額)	2,203,328,068
分 配 準 備 積 立 金	1,237,957,849
繰 越 損 益 金	0

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期
費用控除後の配当等収益額	81,395,763円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	942,811,375
収益調整金	4,573,563,573
分配準備積立金	213,750,711
当ファンドの分配対象収益額	5,811,521,422
当ファンドの期末残存口数	6,180,392,077口
1 万 口 当 た り 収 益 分 配 対 象 額	9,403.15円
1 万 口 当 た り 分 配 金 額	—
収 益 分 配 金 金 額	—

★分配金のお知らせ

決算期	第5期
1万口当たり分配金（税込み）	0円

◇分配金をお支払いする場合

- ・分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

◇分配金を再投資する場合

- ・お手続き分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇課税上の取扱いについて

- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◇受益者別の普通分配金に対する課税について

- ・個人の受益者：2014年1月1日以降は20.315%の税率
- ・法人の受益者：個人の受益者とは異なります。
- ・収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

税制改正等により、課税上の取扱い内容が変更になる場合があります。

課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家にご確認ください。

ベトナム・ロータス・マザーファンド

第5期運用報告書 [決算日 2022年1月19日]

[計算期間 2021年1月20日～2022年1月19日]

「ベトナム・ロータス・マザーファンド」は、2022年1月19日に第5期決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当該マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（設定日：2017年1月20日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">・主としてベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域（日本を含む）の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を目指した運用を行います。・ベトナム関連企業とは、ベトナムで営業を行う企業、もしくはベトナム経済動向の影響を強く受けるビジネスを行う企業で、ベトナム国籍以外の企業をいいます。・投資するベトナム株式には、当該株式の値動きに連動する上場投資信託を含みます。・銘柄選択は、企業収益の成長性・財務健全性・流動性等を勘案して柔軟に行います。・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	ベトナムの取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

★設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率			
設定日(2017年1月20日)	10,000	—	—	—	480
第1期(2018年1月19日)	12,880	28.8	29.0	45.8	599
第2期(2019年1月21日)	10,331	△19.8	97.0	0.4	1,216
第3期(2020年1月20日)	11,208	8.5	97.3	0.9	2,187
第4期(2021年1月19日)	14,296	27.6	98.0	0.6	2,821
第5期(2022年1月19日)	22,393	56.6	94.9	2.8	11,950

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

(注2) 設定日の基準価額および純資産総額は、それぞれ当初設定価額および当初設定元本額を記載しています。

★当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰落率		
(期首)2021年1月19日	14,296	—	98.0	0.6
2021年1月末	12,288	△14.0	97.5	0.6
2月末	14,210	△0.6	97.9	0.6
3月末	15,728	10.0	98.5	0.5
4月末	15,864	11.0	96.2	0.6
5月末	17,628	23.3	90.9	1.2
6月末	19,007	33.0	92.5	2.8
7月末	17,789	24.4	94.2	2.8
8月末	19,411	35.8	90.0	2.9
9月末	20,459	43.1	94.8	2.8
10月末	22,802	59.5	93.1	3.1
11月末	23,653	65.5	95.9	3.1
12月末	23,878	67.0	95.3	2.8
(期末)2022年1月19日	22,393	56.6	94.9	2.8

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

★運用概況および今後の運用方針

☆運用概況

1. 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、期首14,296円からスタートし、期末は22,393円となりました。

2. 運用の概況

期を通して、ベトナム株式市場に上場する個別株式への投資によって運用を行いました。流動性の高い大型株への投資を主体としましたが、中小型株への投資も銘柄を厳選して行いました。新型コロナウイルス感染拡大のために今期はベトナム企業との直接面談による投資対象企業調査が出来ませんでした。それに変わりベトナム現地の有力証券会社との緊密な連絡を心がけ、銘柄選択精度の更なる向上を目指しました。

○基準価額の推移



(注) 設定日の基準価額は設定価額を記載しております。

☆市況概況

本ファンドの期末である2022年1月19日のベトナムVN指数は1,442.79でしたが、期初の前日である2021年1月19日の1,131.00と比較すると、当決算期のベトナムVN指数は27.6%の上昇でした。また、同期間にベトナム・ロータス・ファンドの基準価額は53.1%上昇しました。一年を通して見るとベトナムVN指数は2021年1月と7月、及び2022年1月の下落を除くと概ね上昇基調を保ちました。

2021年を通じて世界レベルでは新型コロナウイルス感染拡大に歯止めが掛からなかったものの、世界中で大幅な金融緩和策が取られたことから、欧米株は2021年を通じて概ね上昇基調でした。ベトナムでは、2020年は徹底的な感染対策が効を奏し累計の感染者数を極めて限定した人数に押さえ込むことに成功しましたが、2021年には感染拡大が起こり、社会経済活動との両立を目指す政策を取らざるを得ない状況となりました。

2021年はパンデミックの為にベトナムでも大幅に経済活動が制限されましたが、結局2021年のGDP成長率は2.58%とプラスとなりました。2021年の海外からベトナムへの直接投資申請額は前年比で15.4%増加し、また、2021年の輸出額は前年から19.0%増加して過去最大値を更新しました。

(期初2021年1月20日～期末2022年1月19日)



本ファンドの期末である2022年1月19日のベトナム・ドンの対円相場（100ベトナム・ドンあたり、投資信託協会発表）は0.5041でしたが、これは期初前日の2021年1月19日の0.4500と比較すると12.0%の上昇でした。期中のベトナム・ドンは、概ね、期を通じて上昇する推移となりました。ベトナムは為替管理にベトナム・ドンの対ドルのレートを基準とする管理フロート制を採用していることから、期中のベトナム・ドンの為替相場の動きはドル・円レートの動きに近い動きでした。



☆ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

★今後の運用方針

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。主として、ベトナムの取引所に上場しているベトナム株式、ならびに世界各国・地域（日本を含む。）の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式等を投資対象とし、銘柄選択は、企業収益の成長性・財務健全性・流動性などを勘案して柔軟に行います。また、投資するベトナム株式には、当該株式の値動きに連動するETF（上場投資信託）も含まれます。株式の組入れ比率は原則として高位を保ち、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。この運用方針に則り、信託財産の成長を目指し運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

★1 万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2021年1月20日～2022年1月19日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	-	-	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は18,560円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。
(投信会社)	(-)	(-)	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	(-)	(-)	
(受託会社)	(-)	(-)	
(b) 売買委託手数料	57	0.31	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(株式)	(56)	(0.30)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(先物オプション)	(-)	(-)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.01)	
(c) 有価証券取引税	9	0.05	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(株式)	(9)	(0.05)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資証券)	(-)	(-)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(先物オプション)	(-)	(-)	
(投資信託受益証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	69	0.37	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(保管費用)	(69)	(0.37)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用、及び信託財産計理業務に係る費用 その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料
(監査費用)	(-)	(-)	
(印刷費用)	(-)	(-)	
(その他)	(0)	(0.00)	
合計	135	0.73	

(注1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) -印は該当がないことを示します。

★売買および取引の状況（2021年1月20日～2022年1月19日）

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ベトナム	百株	ベトナム・千ドン	百株	ベトナム・千ドン
		457,481 (87,714)	1,911,028,265 (112,632,485)	141,731 (42,671)	571,124,507 (112,632,485)

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託受益証券、投資証券

銘 柄 名		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (ベトナム)	DCVFMVN DIAMOND ETF	口 2,270,000	ベトナム・千ドン 59,288,133	口 —	ベトナム・千ドン —

(注) 金額は受渡代金。

★株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	12,207,781千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,616,399千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	2.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

★利害関係人との取引状況等（2021年1月20日～2022年1月19日）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

★主要な売買銘柄 (2021年1月20日～2022年1月19日)

(1) 株式

当 期							
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ベトナム外商銀行	920	444,442	483	ホアファットグループ	900	234,190	260
ベトナム投資開発銀行	1,750	383,505	219	デジワールド・コーポレーション	374	228,555	611
ピンググループ	771.9	366,539	474	ピンググループ	250	144,815	579
ピンホームズ	890	365,907	411	ホアセン・グループ	710	142,820	201
ホアファットグループ	1,400	353,215	252	ナムキム鉄鋼	720	138,940	192
コテコンズ建設	730	322,466	441	ベトテル郵便	333.6	131,803	395
アンファット バイオプラスチック	2,700	286,598	106	ベトナム外商銀行	280	128,982	460
ナムキム鉄鋼	1,620	270,824	167	ノ・バ・ランド・インベストメント	262.8	115,882	440
カンディエン不動産	1,210	264,040	218	ペトロベトナム運輸総公社	900	100,032	111
ホーチミン市住宅開発商業銀行	1,720	249,020	144	ベトジェット航空	154.1	93,981	609

(注) 金額は受渡代金。

(2) 投資信託受益証券、投資証券

当 期					
買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
	口	千円		口	千円
DCVFMVN DIAMOND ETF	2,270,000	290,390	—	—	—

(注) 金額は受渡代金。

★組入資産の明細 (2022年1月19日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(ベトナム)	百株	百株	ベトナム・千ドン	千円	
ペトロベトナムテクニカルサービス	—	7,400	21,386,000	107,806	エネルギー
ペトロベトナム運輸総公社	460	4,760	9,996,000	50,389	エネルギー
アンファット バイオプラスチック	169	20,500.90	36,081,584	181,887	素材
ビム・ゾン・セメント	—	15,246	27,290,340	137,570	素材
ドンハイ・オブ・ベンチャー	3,638.36	5,019.95	40,109,400	202,191	素材
ペトロベトナム化学肥料	9,755.90	17,555.90	73,559,221	370,812	素材
ホアファットグループ	8,974.31	16,170.31	71,149,364	358,663	素材
ホアセン・グループ	8,100	11,420	37,857,300	190,838	素材
第1ハティエンセメント	3,026.80	11,765.80	23,531,600	118,622	素材
ビンズオン建設鉱業	—	4,000	16,460,000	82,974	素材
ナムキム鉄鋼	3,500	14,600	48,618,000	245,083	素材
フォックホアゴム	3,159.60	2,500.60	18,504,440	93,280	素材
フータイ	1,803.60	2,802.97	28,590,294	144,123	素材
ビン・ミン・プラスチック	748	—	—	—	資本財
コテコンズ建設	—	6,100	60,390,000	304,425	資本財
デベロップメント・インベストメント・コンストラクション	—	1,900	15,903,000	80,167	資本財
フェコン地下工事・基礎技術	7,921.87	21,711.87	61,336,032	309,194	資本財
ベトナム電気設備	2,800	11,401.40	43,553,348	219,552	資本財
ハド・グループ	4,600	3,720	21,204,000	106,889	資本財
第1送電線建設	7,260	12,080	39,984,800	201,563	資本財
ベトナム動力農業機械総公社	1,643	843	3,532,170	17,805	資本財
ベトナム空港社	—	1,600	14,080,000	70,977	運輸
ジェマディプト港湾海運	—	6,400	26,336,000	132,759	運輸
ベトテル郵便	1,792.92	0.97	6,605	33	運輸
ベトジェット航空	—	409	5,092,050	25,669	運輸
ソンホン縫製	0.3	4,071.30	31,226,871	157,414	耐久消費財・アパレル
フーニュアン・ジュエリー	—	1,900	17,727,000	89,361	耐久消費財・アパレル
センチュリー合成繊維	2,351.25	4,125.25	22,070,087	111,255	耐久消費財・アパレル
タインコン縫製商業投資	1,114.50	0.67	4,221	21	耐久消費財・アパレル
ベトナム繊維・衣料グループ	—	9,701	23,185,390	116,877	耐久消費財・アパレル
FPTリテール	0.06	9,500.06	74,100,468	373,540	小売
ハンサイン自動車サービス	—	8,530	24,225,200	122,119	小売
ナムベト水産	2,905.40	4,000.40	11,241,124	56,666	食品・飲料・タバコ
サオタ食品	1,992	5,190	25,456,950	128,328	食品・飲料・タバコ
国際投資開発	0.05	7,000.05	8,715,062	43,932	食品・飲料・タバコ
マッサングループ	1,350	2,550	36,235,500	182,663	食品・飲料・タバコ
クアンガイ製糖	—	5,200	24,596,000	123,988	食品・飲料・タバコ
ビンホアン	1,224	8,024	48,625,440	245,120	食品・飲料・タバコ
ベトナム乳業 (ビナミルク)	1,220	—	—	—	食品・飲料・タバコ

銘柄	前期末	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ベトナム)	百株	百株	ベトナム・千ドン	千円		
ベトナム投資開発銀行	2,983.90	23,373.19	104,945,623	529,030	銀行	
ベトナム産業貿易商業銀行	6,722	17,146.98	59,242,815	298,643	銀行	
エクシムバンク	—	12,000	38,820,000	195,691	銀行	
ホーチミン市住宅開発商業銀行	11,086.73	26,258.41	77,593,601	391,149	銀行	
軍隊商業銀行	2,000	24,144	72,190,560	363,912	銀行	
サイゴン商信株式商業銀行	12,700	18,500	62,715,000	316,146	銀行	
ベトナム外商銀行	2,463	11,088.38	97,134,208	489,653	銀行	
ホーチミン市証券	1,000	5,100	18,819,000	94,866	各種金融	
サイゴン証券	6,900	9,443.50	39,946,005	201,367	各種金融	
ベト・キャピタル・セキュリティーズ	500	6,300	33,894,000	170,859	各種金融	
VNダイレクト証券	—	1,500	9,360,000	47,183	各種金融	
バオミン保険	993.1	4,191.72	16,766,880	84,521	保険	
軍隊保険	—	11,300	23,052,000	116,205	保険	
CMC技術グループ	3,266.30	3,617.30	17,941,808	90,444	ソフトウェア・サービス	
デジタルワールド・コーポレーション	4,233.80	7,887.60	87,946,740	443,339	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ベトロベトナムガス	—	3,000	32,100,000	161,816	公益事業	
サオマイ建設	11,698.20	17,550.26	26,237,638	132,263	不動産	
ダットサイン不動産建設	3,003	13,343.45	39,963,632	201,456	不動産	
キンバックシティグループ	6,100	9,100	45,955,000	231,659	不動産	
カンディエン不動産	3,165.29	14,481.81	73,133,140	368,664	不動産	
トゥリエム都市開発	2,700	—	—	—	不動産	
ノ・バ・ランド・インベストメント	—	473.81	3,795,218	19,131	不動産	
トゥドゥック住宅開発	154	154	157,850	795	不動産	
ピンホームズ	1,091.70	10,149.21	78,148,917	393,948	不動産	
ピングループ	2,150	7,640.12	73,268,750	369,347	不動産	
ピンコム・リテール	1,700.05	7,600.05	24,624,162	124,130	不動産	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	168,121 49	535,045 62	2,249,713,415 —	11,340,805 <94.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(2) 外国投資信託受益証券、投資証券

銘柄	前 期 末	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ベトナム)		口	口	ベトナム・千ドン	千円
DCVFMVN DIAMOND ETF	187,000	2,457,000	65,577,330	330,575	
合 計	口数・金額 銘柄数<比率>	187,000 1	2,457,000 1	65,577,330 —	330,575 <2.8%>

(注1) 比率欄は純資産に対する比率です。

(注2) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

★投資信託財産の構成 (2022年1月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	11,340,805	94.6
投資信託受益証券	330,575	2.8
コールローン等、その他	314,582	2.6
投資信託財産総額	11,985,962	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお1月19日における邦貨換算レートは1ペトナム・ドン=0.005041円、1米国ドル=114.72円です。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(11,933,496千円)の投資信託財産総額(11,985,962千円)に対する比率は99.6%です。

★資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,985,962,615円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	55,356,747
株 式	11,340,805,329
未 収 入 金	257,350,835
未 収 配 当 金	1,874,384
投 資 信 託 受 益 証 券	330,575,320
(B) 負 債	35,134,794
未 払 金	35,127,462
そ の 他 未 払 費 用	7,332
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	11,950,827,821
元 本	5,336,891,738
次 期 繰 越 損 益 金	6,613,936,083
(D) 受 益 権 総 口 数	5,336,891,738口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,393円

(注1) 当ファンドの期首元本額は1,973,901,264円、期中追加設定元本額は3,632,293,648円、期中一部解約元本額は269,303,174円です。

(注2) 1口当たり純資産額は2.2393円です。

(注3) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

★損益の状況

(2021年1月20日～2022年1月19日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	94,751,823円
受 取 配 当 金	94,751,823
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,924,513,996
売 買 益	2,443,687,676
売 買 損	△ 519,173,680
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,846,582
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,998,419,237
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	848,007,320
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,999,206,352
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 231,696,826
(H) 合 計 (D + E + F + G)	6,613,936,083
次 期 繰 越 損 益 金	6,613,936,083

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

★お知らせ

＜約款変更について＞

該当事項はございません。